

1) 着目した豊かさの要素・要件

回答欄：日常を振り返るときに感じる豊かさ、心のゆとりや時間の余裕から感じる豊かさ ⇒精神的な包容力が大きいとき

2) 豊かさの要素・要件が生まれた背景や要因

回答欄：

- ・同じ出来事が起こったときに、それらを受け流したり、許容できたとき
例) 子どもが夜泣きしたときに、イライラするときもあれば、むしろ楽しく？感じる時さえある
マナーが悪い人に遭遇した時に、怒りを覚えるときもあれば、まあ中にはそういう人もいるよねと受け流すときもある
- なんとなくですが、日々の生活のベースとなる精神状態が全体的にベースアップされた状態になるとき

3) 着目する豊かさの要素・要件を阻害するコト・モノ

回答欄：

「精神的な包容力」＝ゆとり を阻害し得るもの

- ・時間的な制約
- ・価値観を共用できない他者の介入
- ・天候・天災等の自然現象
- ・湿気、光環境、温熱環境等の居住空間の環境

1) 人間が長寿化することにより起こるであろう個人の変化

回答欄：

- ・働き方の選択肢が増える。
 - ①働く・休むを繰り返す人、②所謂定年まで働いてきっぱりやめる人、③働く・休むを100才まで両立する人（今は②の定年を伸ばすことが多いが、新卒1000万などの動きもある。）

2) 人生100年時代の個人の変化によって生まれるであろう新たな住まいと暮らし方

回答欄：

- ・「家」「近所」「地域」で過ごす時間が長くなる
- ・生家、現役時代の住まい、終の住処から、人それぞれのタイミングで必要な住まい暮らし方を選ぶ時代になる
- ・ライフシーンの長さ、回数に合わせて、コンスタント住み替えるひとが増える。もしくはカスタマイズするひとが増える。
- ・多拠点居住の浸透

3) 人生100年時代には、住まいと暮らし方のどのような側面・性質が重要となるか

回答欄：

- ・多様化するライフシーンを包含するような住まいの限界？
 - ⇒住まいは各ライフシーンに特化するのか、とことんプレーンなものでカスタマイズの余地を高めるのか
- ・コンスタントに住み替えられる、土地への定着性の自由度をあげる制度設計（持ち家か賃貸かという構図）
 - ⇒築年数で価値が下がるのではない付加価値のある住まい
- ・健康寿命も伸ばす住まい方（快適性）